

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名 移住者等援護協力活動費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部観光国際局 国際交流課 国際交流係 電話番号：058-272-1111 (内 3113)

E-mail：c11345@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,808 千円 (前年度予算額：3,808 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,808	0	0	0	0	0	0	0	3,808
要求額	3,808	0	0	0	0	0	0	0	3,808
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

本県出身のブラジル、アルゼンチン及びペルーへの移住者の子弟等を県内大学等に留学生として受け入れるとともに、多文化共生事業への活用を図る。

また、本県出身関係者で構成するブラジル、アルゼンチン及びペルーの県人会の活動に対して補助し、各県人会との連携強化を図り、各種の国際交流事業等を推進する。

(2) 事業内容

① 県費留学生地域共生活用促進事業費

ア 移住者支援

本県出身移住者の子弟等を受け入れ、留学生として県内の大学等で勉学させることにより、将来にわたり本県との交流・協力を推進する人材を育成し、移住者社会を支援する。

対象：ブラジル、アルゼンチン及びペルーの岐阜県人会の会員又は会員の子弟

受入人数：1名

イ 国際交流推進支援

国際交流団体の実施する事業への参加等、県や市町村の推進する国際交流施策推進を支援する。

②岐阜県海外県人会活性化事業補助金

ブラジル岐阜県人会、アルゼンチン岐阜県人会及びペルー岐阜県人会が実施する日本文化継承等の事業へ補助を行う。(定額補助)

(3) 県負担・補助率の考え方

県出身者の移住者支援施策であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	469	業務旅費、費用弁償(留学生の母国と日本との往復旅費及び留学生関係市町村派遣に係る旅費)
需用費	10	消耗品費
補助金	1,250	補助金(ブラジル:800千円、アルゼンチン:250千円、ペルー:200千円)
その他	2,079	負担金(県費留学生地域共生活用促進事業に係る留学費)
合計	3,808	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県国際交流戦略

国際交流戦略に基づく分野別及び国・地域別交流の進め方

2 国・地域別交流の方向性 (4) 南米地域

(2) 国・他県の状況

国及び他県においても、海外移住者支援事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

今後も引き続き各県人会との連携強化を図るため、財政負担は必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県出身者の移住者支援施策であり、県は事業主体として妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

今後の岐阜県と、ブラジル、アルゼンチン、ペルーとの交流促進において、現地県人会は核となる存在になっており、その活動支援を行い、更には国策として送り出された移住者のアイデンティティの継承を行っていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移			現在値	目標	達成率
留学生受入数	0 (-)	1 (H29)	1 (H30)	1 (R1)	0 (R2)	1 (R3)	0%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

県費留学生地域共生活用促進事業においては、ブラジルから1名の県費留学生を受け入れ予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、令和3年度に受入を延期した。（岐阜大学工学部）

岐阜県海外県人会活性化事業費補助金においては、日本文化継承等の事業を各県人会で実施。

（実施内容）ブラジル：県人会便りの発行、県農業高校生海外実習受入等
アルゼンチン：日本語講座、日本文化紹介講座等

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

受入留学生の帰国後、県人会活動の活性化や日系人社会の発展への貢献が期待できる。

岐阜県海外県人会活性化事業費補助金を活用し、ブラジル県人会及びアルゼンチン県人会では各講座を通じて日本文化継承を行っている。

今後も本事業を継続することで、岐阜県出身であるというアイデンティティの継承支援を行うことができる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	県人会会員の高齢化による組織の弱体化が進んでおり、県人会を担う次世代の育成が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	帰国後、留学生が県人会活動に参加することで、活性化を図ることができている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	県費留学生の来岐経費を精査し、その受入・活用においては県が推進する多文化共生推進施策において活用するなどしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>県人会の会員（特に役員クラス）が高齢化していることで若い日系人の参加が課題であり、各国県人会において若い人たちが参加できる県人会の活動の仕組みづくりが必要である。</p> <p>また、日本語の読み書きができない若い日系人が増えており、日本とのつながりが希薄となってきているため、日本とのつながり作りが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>帰国後、将来にわたり、本県との交流・協力を推進する人材を育成し、移住者社会を支援していくため継続していく必要がある。</p> <p>また、各県人会での日系人に対しての日本文化継承だけでなく、現地に住む岐阜県人の活動を支援していく必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	岐阜県海外県人会活性化事業費補助金
補助事業者（団体）	ブラジル岐阜県人会、在アルゼンチン岐阜県人会、ペルー岐阜県人会 （補助の理由）本県出身関係者で構成する移住者団体
補助事業の概要	（目的）本県出身関係者で構成する各県人会の活性化、県との連携強化を図る。 （内容）各県人会の活動に対して、補助金を交付する。
補助率等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （ブラジル岐阜県人会：800千円、在アルゼンチン岐阜県人会：250千円、ペルー岐阜県人会：200千円）
補助効果	県と各国との交流促進、移住者のアイデンティティの継承を図る。
終期の設定	終期：令和5年度 （理由）事業開始から既に3年以上経過のため

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>現地県人会は、県との交流の核となる存在になっており、その活動を支援することで、県人会活動の活性化、本県との交流促進、移住者のアイデンティティの継承を図る。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H15年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① ブラジル岐阜県人会 会員数	不明	1212人	1212人
② 在アルゼンチン岐阜県人会 会員数	不明	119人	119人
③ ペルー岐阜県人会 会員数	不明	115人	115人

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	1,050千円	1,050千円	1,050千円	(予算額) 1,250千円	(要求額) 1,250千円
指標①目標	1,570人	1,298人	1,212人	1,212人	1,212人
指標①実績	1,212人	1,206人	1,000人	—	—
指標①達成率	77.2%	92.9%	82.5%	—	—
指標②目標	119人	119人	119人	119人	119人
指標②実績	119人	119人	120人	—	—
指標②達成率	100%	100%	100.8%	—	—
指標③目標	125人	125人	115人	115人	115人
指標③実績	115人	120人	115人	—	—
指標③達成率	92.0%	96.0%	100%	—	—

(前年度の成果)

ブラジル及びアルゼンチン県人会に対し、補助金を交付した。各県人会では、日本文化に関する講習会等を通じて会員同士の親交を深め、会の活性化を図っている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

会員が高齢化しており、若い世代の参加と事業の継承、岐阜県とのつながりの維持が課題である。

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)

○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い

(評価) 県と各国交流の核となる県人会の存在は大きく、県人会活動を継続させていくための支援は必要である。

○

・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている

△ : まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価) 各県人会の活動を支援することで、県の各種施策を円滑に進めることができおり、期待どおりの効果が得られている。

○

・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)

○ : 効率化は図られている、△ : 向上の余地がある

(評価) 県人会からの申請を容易にするため、英語版を作成、申請様式を定める等の効率化を図っている。

○

(事業の見直し検討)

県が各国と交流する上で、岐阜県人会は核となる存在であり、県人会の活動を活性化させていくために、本補助金は必要である。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由)

県が各国と交流する上で、岐阜県人会は核となる存在であり、県人会の活動を活性化させていくために、本補助金は必要である。